

麦づくり情報(No.5)



1. 生育概況

○麦作況情報田(3月23日現在)

場所	品種名		播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	主稈葉数 (L)	葉色	概況
牛 津	サチホゴールド 4条播き	本年値	12/10	65.8	655	11.4	38.6	◎農試平年値と比較する。 (昨年値はカモ食害の影響があったため) 草丈は平年より高い。(146%) 茎数は平年より少ない。(66%) 葉令からみた生育は平年より早い。
		昨年値	12/14	(44.0)	(972)	(8.6)	(45.0)	
		農試本年値	12/10	60.6	883	10.2	-	
		農試平年値	12/10	45.0	999	8.8	-	
大 和	シロガネコムギ 8条播き	本年値	11/21	(73.4)	(382)	(10.9)	39.7	※調査区は鳥害の影響あり。葉色は調査区外を測定。 ◎農試データの生育から 草丈は平年より高い。(137%) 茎数は平年よりやや少ない。(95%) 葉令からみた生育は平年より早い。
		平年値	11/29	46.7	718	8.4	42.9	
		農試本年値	11/20	72.4	654	9.1	-	
		農試平年値	11/20	52.8	686	8.8	-	

※農試本年値、平年値は作況の3月19日調査データを記載

3月1～4半旬の気象状況は、平均気温 10.1℃(平年+0.9℃)、日照時間 116時間(平年比 115%)と、高温・多照となった。

○管内概況

小麦で11月中旬に播種した圃場では出穂期～穂揃期となっており、11月下旬に播種した圃場では葉齢が止葉葉位に達している。また、大麦は11月播き、12月初旬に播種した圃場では穂揃期となっており、12月上中旬に播種した圃場では止葉葉位に達し、芒が出始めている。

2. 今後の管理

○穂揃期追肥

今冬作は、高温・多雨で経過したため生育が進み、平年に比べ葉色が薄い圃場が多く見受けられる。粒の充実、タンパク質含有率の確保に向け、**穂揃期追肥を確実に実施**する。

タンパク質含有率を確保するため、穂揃期(全体の8割の穂が出穂した時期)追肥を、**遅れないよう確実に施用**する。

品 種	窒素量 kg/10a	実肥の施用量(※大豆跡も同量)
チクゴイズミ	2	硫安 10kg または 尿素 5kg
ミナミノカオリ	4	硫安を 20kg または 尿素 10kg

※施用時期が出穂18日以降になると、タンパク質含有率向上効果が低下する

◎葉色が薄い場合【SPAD値40以下、群落葉色3.8以下】

- ◆窒素量を基準より **1kg程度増やして早め(出穂始めから穂揃期)** に施用
- ◆**シロガネコムギ、大麦でも葉色が薄い場合**は、粒の充実、タンパク質含有率の確保するため追肥(窒素量 2kg/10a)を行う。

○病虫害防除 網斑病・赤かび病は**予防が基本**(散布時期が遅れないよう各圃場の状況確認を)

◆赤かび病：**はるか二条およびパン用小麦**については、**2回防除**する

小麦

- ・開花期～開花最盛期(=出穂期の約10～14日後)に防除

※発生が多い場合は2回目の防除を実施(1回目防除の10～20日後)

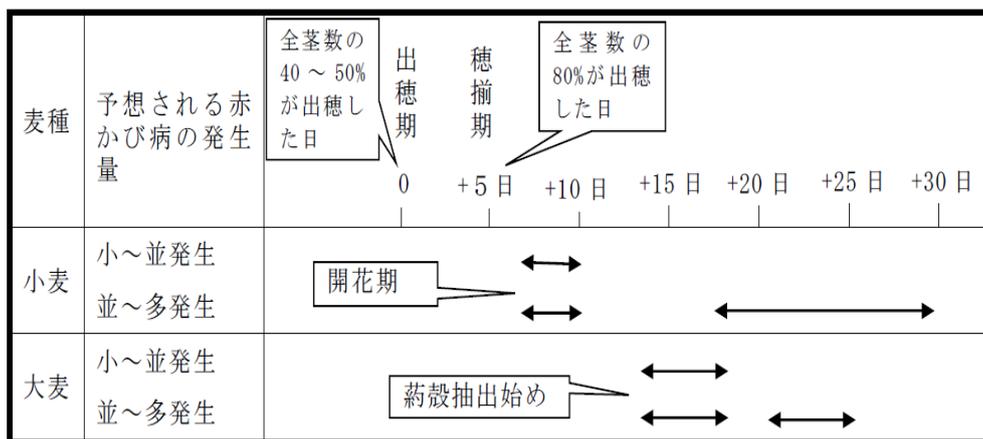
大麦

- ・葎殻抽出始め(=出穂期の約2週間後)に防除
※多発生が予想される場合は2回実施(1回目防除7日後)
- ・トップジンM水和剤を使用する場合は、収穫前30日前までの使用となっているので注意する

大麦の芒(のげ)の下から
黒い**葎殻**が出る時期に防除



赤かび病の防除適期



- 注1) 出穂期とは全茎数の40～50%が出穂、穂揃期とは全茎数の80%が出穂した日。
- 注2) 小麦の開花期とは40～50%の穂が開花した日。
- 注3) 大麦の蒴殻抽出始めとは、50%以上の穂で蒴殻が見え始めた日。
- 注4) 大麦で2回目の防除を行う場合、薬剤の使用法（収穫前日数）に特に注意する。

◆網斑病：上位3葉まで病斑を進展させてしまうと、登熟に影響し大幅な減収・品質低下となるので、発生状況に合わせて早めに薬剤散布（チルト乳剤等）を行う。

○参考【農業試験研究センター 出穂期】

品種	播種期	平年値	前年値（平年差）
シロガネコムギ	11/20	4/4	3/28 (-7)
	12/10	4/12	4/7 (-5)
サチホゴールド	12/10	4/3	3/30 (-6)
	12/20	4/7	4/4 (-3)
はるか二条	12/10	3/29	3/29
	12/20	4/3	4/3

- 注1) 「シロガネコムギ」の平年値は過去7ヶ年の内最高と最低を除いた5ヶ年の平均
- 注2) 「サチホゴールド」の平年値は過去4ヶ年の平均
- 注3) 「はるか二条」の平年値は前年値

農研機構にて、積算気温等による麦の出穂期予測が公開されています。詳細は下記 URL を参考ください。

●農研機構：リアルタイムアメダスを用いた麦の発育ステージ予測

http://www.naro.affrc.go.jp/org/warc/meteo_fukuyama/WEB/wheat/index_mugi.html

※3月22日時点のシロガネコムギの予測出穂期

11/20 播種：3月20日

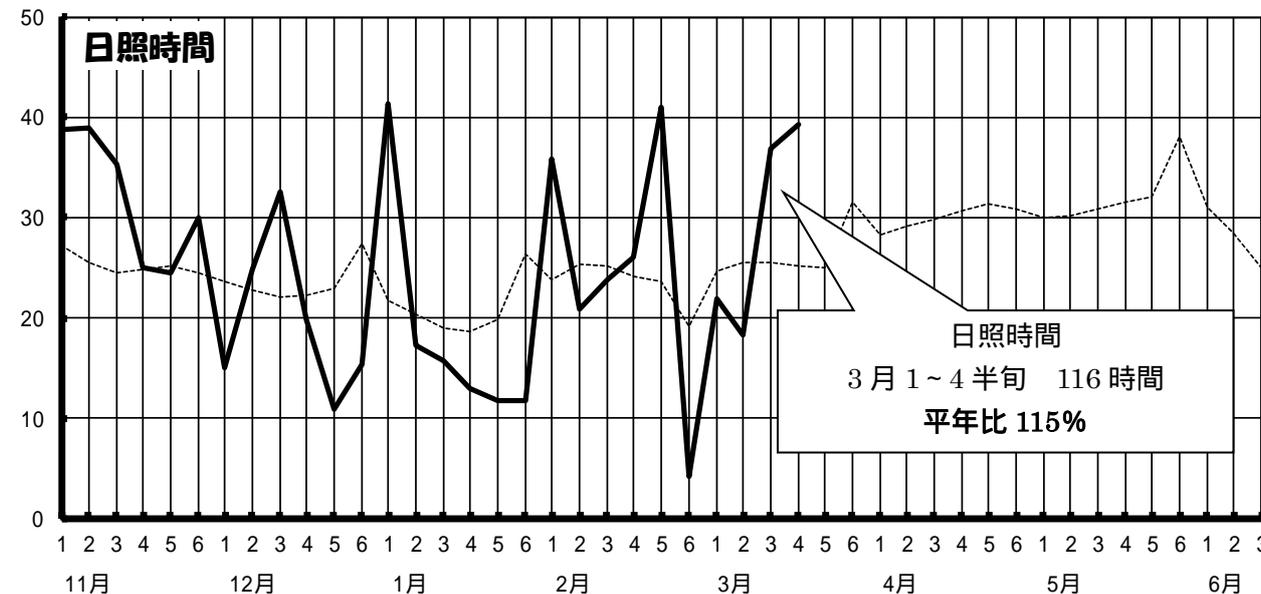
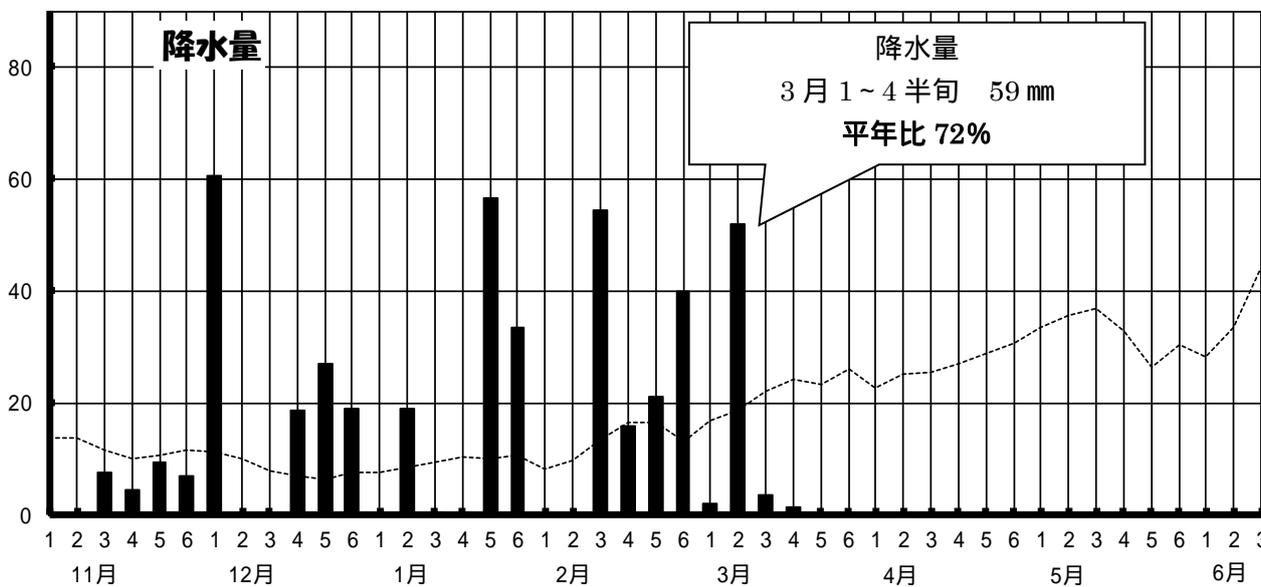
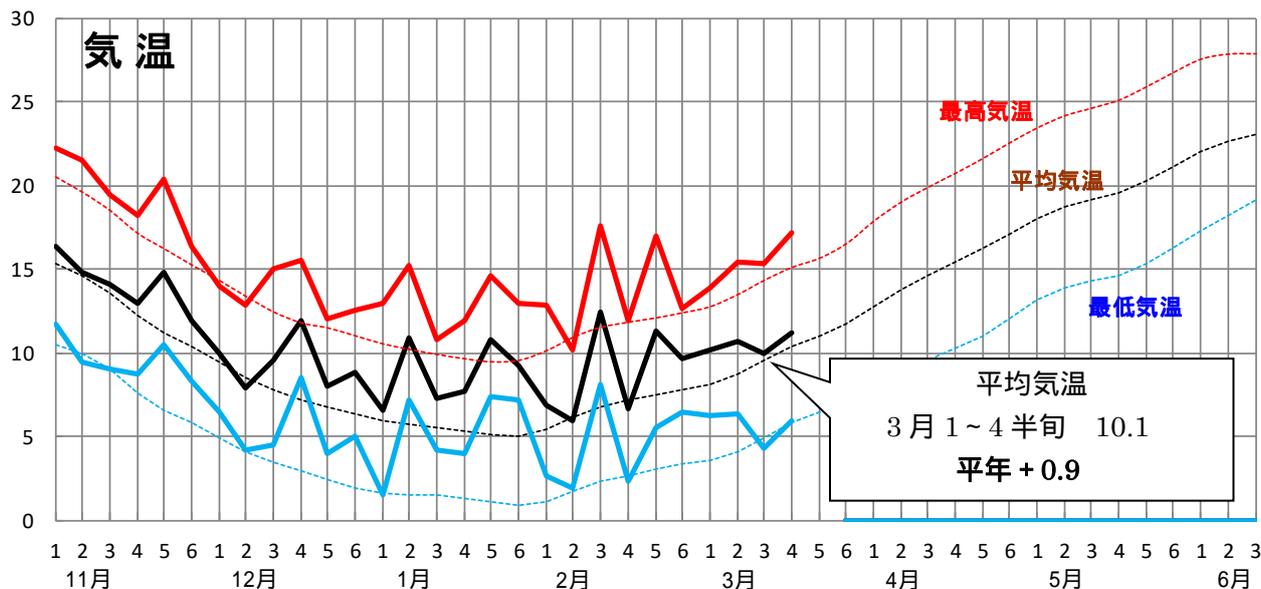
12/10 播種：4月1日

(平年より2週間程度早い見込み)

2年産麦類生育期間気象グラフ

アメダス観測値（佐賀）

佐城農業改良普及センター



グラフ中の点線は平年値